

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	癒しの森Kidsわかえ		
○保護者評価実施期間	7年 3月 10日		7年 3月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	7年 3月 10日		7年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの内容の豊富さ	子ども達が興味をもっていることやしたいことなど、普段の活動から観察したり、会話することによって取り入れている。	スタッフ全員が立案し調べたり、意見交換したりしている。又、保護者から保護者からアドバイスをいただいたり、実際に子ども達に立案から実践までを行ってもらい自信や自己肯定感を高めてもらっている。
2	思いっきり身体を動かせる広いスペース	広いスペースを活かし、他社ではできないレクリエーションを実施している。広いゆえに子どもが方々に行かないような見守り方や注意のひき方を意識している。	実際に学校で行うようなドッジボール大なわとび、とび箱などを取り入れることにより、自信をつけて学校で取り組んだり友だちの輪の中に入れるきっかけ作りとなれるように考えている。
3	事業所間での積極的な交流	他事業所との友だちや職員との交流、更に、高齢デイサービスへ訪問し、音読やダンスなどを披露している。	様々な年代の人たちと触れ合うことによって、見聞や視野を広げ、色々な経験をしてもらうとともに協調性を学んでもらう。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNS・ホームページの存在や家族交流の場を設けているのに、あまり認知されていない。	毎月発行しているおたよりや行事予定表などでお知らせしているが、しっかりと中身まで把握されていない。	新しい告知の方法として、アプリの導入などを考えている。
2	地域の人を招待しての交流がうまく実施できない。	地域の人を招待するきっかけがない。又、招待したとしてトラブルや事故が起きた時のことを考えると積極的に開催しようと思わない。	実際、地域交流を望まない保護者もあり、実現は難しい。実施を考えるには、まだまだ徹底した検証が必要である。
3	保護者とのアナログ対応	保護者との連絡ツールとして連絡ノートを用いているが、写真が欲しいとの要望が度々あり、それに対応できていない。	今後、時代の流れとして、アプリなどの導入を検討したい。